



日本共産党 あなたの疑問にお答えします

コロナ対策 財源問題をどう考える

コロナ対策の補正予算で57・6兆円の国債の追加発行が予定されています。長引けばさらに多くの費用が必要となります。

今、国の借金は1000兆円前後、国内総生産（GDP）の2倍の規模で、これを野放図に増やすことには賛成できません。

しかし、社会保障や減税のように期間が限定されておらず恒久的に続くものと、災害や感染症被害のように巨額の対策費用がかかるとしても期間が限定されたものとは、財源の考え方も違ってきます。

社会保障や減税の場合は、その年に必要な費用を基本的にその年の財源でまかなう必要がありますが、災害や感染症の対策費用は、とりあえず借金でまかなって置いて、今後ある程度長期間かけて返済していくという方法が合理的だからです。

仮に、「財源がないから」とコロナ対策の費用を出し渋ったり、対策を遅らせたりすれば、感染が拡大・長期化して、国民の命が脅かされるだけでなく、経済もますます疲弊し、財政危機がますます深刻化することになってしまいます。

同時に、大型公共事業や兵器の「爆買い」などの不要不急の支出を削減することも重要です。感染拡大防止の観点からも不要不急の事業は中止または延期し、その予算をコロナ対策の財源に充てるべきです。

公設卸売市場を守りましょ

加古川市は、昨年4月段階で26億円をかけて整備計画を立てていた公設卸売市場を青果卸売業者の倒産を契機に、急転直下、廃止に踏み切りました。

廃止になれば、取引業者約1000社（店）の利便性、地産地消の努力をされてきた東播磨漁協等の漁師や地元農家約110軒の出荷先、そして、市場内従業員約300名の雇用が奪われてしまいます。

共産党の立花俊治市議は、先日行われた建設経済常任委員会で、この問題を取り上げ、この廃止方針は、これまで市が掲げてきた人口減少対策や地域活性化方針に逆行している



卸売市場の売り場風景

と指摘し、市の姿勢を質しています。地域の重要案件との位置づけでNHKも取材に来ました。今、卸売市場の業者が「加古川市場存続協議会」を結成して市場の存続を求めています。存続要望署名を広め、地産地消の促進で豊かで健康的な食文化を守っていきましょ。

と指摘し、市の姿勢を質しています。地域の重要案件との位置づけでNHKも取材に来ました。今、卸売市場の業者が「加古川市場存続協議会」を結成して市場の存続を求めています。存続要望署名を広め、地産地消の促進で豊かで健康的な食文化を守っていきましょ。

街角ニュース



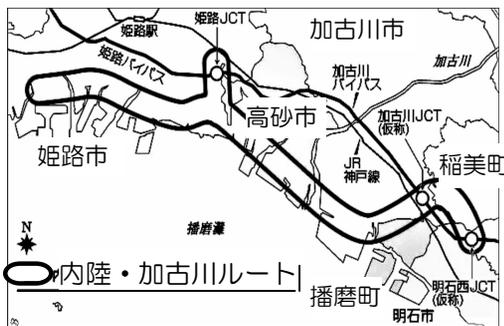
喜瀬川でカルガモ親子



喜瀬川の緑ヶ丘地域でカルガモの子育て。親鴨が9匹の子ガモを引き連れていました。（緑ヶ丘田中）

播磨臨海道路ルート決まる

播磨臨海道路のルートが加古川の内陸ルートに決定しました。詳細は今後着詰めるとのことですが、神鋼加古川工場の北側から中野山の上



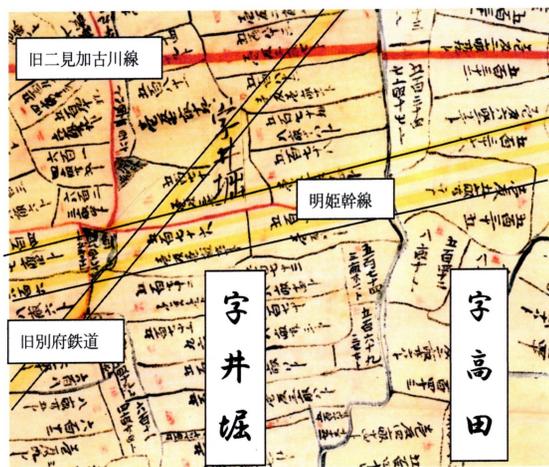
高畑を経る加古川バイパスに至ると予測されています。市民への影響は大きく莫大な予算を伴います。検証が必要です。

今年も国民平和大行進

毎年7月12日に加古川を通過する国民平和大行進。今年はコロナ禍の影響で規模を縮小して実施されました。明石を出発し播磨町経由で加古川市にきていましたが、今年所要所まで集会とデモを短時間実施。加古川では、市役所で集会后加古川

古地図から古代の川発見

左の地図は明治の古地図に明姫幹線などの書き込みを入れたものです。明姫幹線と旧別府鉄道の交差点横



の池に接する細長い田は当時の形で残っています。田んぼの西側に青線で水路、東側には赤線で里道が記入されています。この道の西側は一段低くなっておりました。小字名を谷といいます。先ほどの水路の西にもう一本水路がかかれています。水田川です。水田川の東の小字名は高田。里道にかけては井堀といわれています。井堀の北に接しているのが谷。これが古代の川だったのです。谷には多くの池があり、水が湧き出していた池もありました。河原を水田に変えていったのでしよう。古地図を見ると興味がいっぱい。山の上の小さな地域博物館館長 木戸久裕

勉強になりました 町内散策会①

6月27日、喜瀬川・水田川周回約6kmを歩く散策会が開かれ、9名が参加しました。



行進の先頭に立花市議（右端）

まで行進するといふ形で実施され、約70名が参加。核兵器の廃止を訴えました。

後援会だより

見所は、新井が喜瀬川を横断するサイフォンでした。新井は江戸時代に播磨町の大庄屋今里伝兵衛が干ばつに苦しむ農民を救うため設

ご案内 立花俊治の 議会報告会

とき：8月8日午後2時
ところ：東加古川公民館



今年も大変な豪雨被害が発生しました。コロナ禍の中で救援が求められています。後援会で救援募金に取り組んでいます。ご協力を！

コロナが第二波の様相です。お互いに気をつけましょう。

恐れすぎず、軽視せず、ウイルスを正しく認識してコロナ後の生活に生かしたいものです。